

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	A I を活用した港湾の施設の点検診断方策に関する調査業務
業務場所	国土技術政策総合研究所
業種種別	建設コンサルタント等
履行期間（自）	令和 4 年 8 月 24 日
履行期間（至）	令和 5 年 3 月 23 日
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 国土技術政策総合研究所副所長 坂 克人 神奈川県横須賀市長瀬 3 丁目 1 番 1 号
契約を締結した日	令和 4 年 8 月 24 日
契約の相手方の商号又は名称及び住所	A I を活用した港湾の施設の点検診断方策に関する調査業務 沿岸技術研究センター・八千代エンジニアリング設計共同体
	(代表者) 代表理事・理事長 宮崎 祥一
	東京都港区西新橋一丁目 1 4 番 2 号
随意契約によることとした会計法令の根拠条文	会計法第 29 条の 3 第 4 項、予算決算及び会計令第 102 条の 4 第 3 号
随意契約によることとした理由	<p>本業務は、A I（人工知能）を活用して港湾の施設の点検診断を自動化するシステム（以下「A I 点検診断システム」という。）の開発を目的に、当該システムの開発ロードマップの作成及び一部開発改良を行うものである。</p> <p>本業務の実施にあたっては、A I による画像処理及びソフトウェア開発改良に関する専門知識、多角的な観点から A I 点検診断システムのロードマップの検討を行うための構想力・応用力が必要であり、これらが業務の成果に密接に関係することから、簡易公募型（拡大型）プロポーザル方式に準ずる方式により公募を行った。</p> <p>その結果、入札説明書を交付した 3 2 者のうち、2 者から技術提案があり、業務実施条件を満たした 2 者の業務実績及び技術提案書の内容等を総合的に評価した結果、上記法人が、本業務を遂行するのに最もふさわしい法人であると判断された。</p> <p>以上の理由から上記法人を選定し、会計法第 2 9 条の 3 第 4 項及び予算決算及び会計令第 1 0 2 条の 4 第 3 号の規定により、随意契約するものである。</p>
予定価格 (消費税及び地方消費税含む)	¥44, 594, 000
契約金額 (消費税及び地方消費税含む)	¥44, 550, 000
落札率	99. 90%
再就職の役員の数	

プロポーザルの評価結果

1. 業務名 AIを活用した港湾の施設の点検診断方策に関する調査業務
2. 特定した提案者 AIを活用した港湾の施設の点検診断方策に関する調査業務
沿岸技術研究センター・八千代エンジニアリング設計共同体
3. 特定した提案者の住所 東京都港区西新橋1-14-2
4. 特定した提案者の代表者氏名 宮崎 祥一
5. 特定日 令和 4年 8月 2日

項 目	配点	沿岸技術研究センター・八千代エンジニアリング設計共同体	株式会社パスコ		
1. 技術者資格					
配置予定管理技術者の技術者資格等	5	5	5		
2. 業務実績					
同種又は類似業務の実績	5	3	5		
3. 業務成績及び表彰	10	0	3		
「配置予定管理技術者」の平成29年度から令和2年度末までに完了した、国土技術政策総合研究所(横須賀庁舎)、全地方整備局、及び沖縄総合事務局(すべて港湾空港関係)発注の建設コンサルタント等業務において、管理技術者及び担当技術者として従事した業務の技術者評定点の平均点	5	0	3		
「配置予定管理技術者」の平成29年度から令和2年度までに完了した業務の技術者表彰の有無	5	0	0		
4. 技術提案書の内容	120	68.000	36.000		
1)実施方針・業務フロー	30	0.000	0.000		
2)特定テーマに関する技術提案	90	68.000	36.000		
特定テーマ1					
AI点検診断システム開発のロードマップを検討する上での留意点	30	20.000	4.000		
特定テーマ2					
UAV点検診断システムの改良を行う上での留意点	60	48.000	32.000		
合 計 (小数点第3位以下切り捨て2位止め)	140	76.00	49.00		